

環境教育等に関する教職員・環境保全活動を担う者に向けた研修

主催：環境省 協力：文部科学省

環境教育を担う教職員や地域で環境に関する活動を実践している方々を対象とし、ESD（持続発展教育）の理念や考え方を理解しカリキュラムデザインを考える研修が関東、関西で行われ、関西での運営に協力しました。

（2013/2/2 小学校の部 65名、2013/2/8 中学校の部 44名）



講義の後、グループワークを行いました。

兵庫県などへの協力

グリーンサポート事業 1幼稚園4保育所 延べ15回

活動場所：浜脇保育所（7/27、8/17、9/20） 津門保育所（8/23、9/5、10/30） 今津文協保育所（9/5、10/25、11/7）
朝日愛児館（11/5、12/3、1/16） 夙川幼稚園（8/21、10/19、12/17）

＜環境学習都市・にしのみや＞への取り組み ―持続可能な社会に向けた教育の推進―

山・川・海のある「環境学習都市・にしのみや」のまち全体を視野に入れた環境学習事業を推進しています。

環境学習を推進するしくみづくり

西宮市「地球ウォッチングクラブ（EWC）事業」企画運営

■エコカードを中心とした活動

- ・エコカードを市内市立小学校児童約28,768名に配布
- ・アースレンジャー認定：5,705名
（子どもたちが環境活動を行いエコスタンプを地域、学校、家庭で10個集める）
- ・エコスタンプ20個バッジ認定：2,972名
- ・アースレンジャー6：22名（6年間毎年アースレンジャーになった子ども）
- *学年別エコカード活動
 - ・アースレンジャーファミリー認定：199家族（家族でエコカード活動を行う）
 - ・エコ・メッセンジャー活動：11校 36クラス
（クラスで壁新聞を作成、地域施設で展示、HPに掲載）
 - ・エコトレード活動：7校 21クラス
（（一般社）西宮青年会議所が事務局となり、参加クラスのエコ活動と交換（トレード）し社会貢献活動の資金を提供する）
- *エコカードによる環境活動を啓発するため、「EWCニュース」（年5回）、生きもの発見夏・冬（1,910名参加）を発行する他、ワークプログラムとして「エコとれーにんぐ」4回（5,817名参加）を行いました。

■西宮市内公立学校園への環境学習活動支援 68件

・幼稚園 1件 ・小学校 54件 ・PTA等 11件 ・中学校 1件 ・その他 1件

- *この他に小学校3年生環境体験事業として活動支援をしました（P.3参照）
- ・市内 31件 ・市外 4件

■幼児向け「ちきゅうとなかよしカード」実施

西宮市内公立保育所23カ所、私立保育所34カ所、公立幼稚園希望園7カ所で、幼児向けエコカード「ちきゅうとなかよしカード」を配布しました。活動期間、活動内容については各園の自主性に委ね、概ね好評を得ました。

持続可能な地域づくり・市民活動カード

中学生以上の市民、在学在勤者に向けて「持続可能な地域づくり・市民活動カード」の普及を行いました。 40,000枚配布
カード提出者（15個以上）は 中学生1096名 一般549名

エココミュニティ情報掲示板

<http://info.leaf.or.jp>

西宮市環境学習サポートガイド 幼児版 テータ作成

「環境学習サポートブック」に加え、幼稚園・保育園向けの「環境学習サポートガイドブック」を企画・作成。

西宮市「持続可能な開発のための教育（ESD）」の普及啓発

■「ふるさとウォーク2012」を実施

2012年12月1日（土）9:15～13:00
場所：鳴尾寿公園～浜甲子園運動公園



ふるさとウォーク2012

西宮市をはじめ多様な分野の10団体が歴史・自然・文化また担当団体の紹介などについて出題するクイズポイントを担当し、ESDについて学ぶことのできるラリーを行いました。 参加者：231組 729名



主催：・にしのみやふるさとウォーク実行委員会

（参加団体：西宮市、西宮市教育委員会、神戸女学院大学、生活協同組合コープこうべ、㈱損害保険ジャパン、男女共同参画グループ団体有志ふいてい、西宮市教職員組合、西宮市社会福祉協議会、西宮商工会議所、西宮ユネスコ協会、兵庫県ユニセフ協会、日本野鳥の会ひょうご、ボーイスカウト西宮連合会、学文・鳴尾西・鳴尾東・浜甲子園各エココミュニティ会議、NPO法人こども環境活動支援協会（LEAF））

・西宮市中央公民館・西宮さくらライオンズクラブ

協賛：西宮市環境衛生協議会、生活協同組合コープこうべ第二地区本部

平成24年度ライフ&ネピア環境活動助成事業より支援金を得て実施

三井物産環境基金

様々な団体、事業者による地域での取り組みをつなぎ、地域が自立発展できる社会システムを構築することを目的に3年間（2009年10月～2012年9月）の助成を受け実施しました。

- ・特別座談会「ESDの理念を踏まえた教育と地域づくりを考える」開催（8/28）
- ・環境学習支援地域人材養成 第2期まちの語り部養成セミナー、企業と連携した環境学習プログラムの開発
- ・持続可能な地域づくりサポート基金
- ・地域学習情報提供システム開発
情報検索用HP「人・まち・エコつなげてマップにしのみや」 <http://map.leaf.or.jp>

人づくり

■西宮市職員対象「環境学習研修」（2013/1/23 約40名）

「自分の仕事と持続可能なまちづくりについて考えよう」をテーマに実施しました。

■西宮市の保育士、教員研修への講師派遣

- *西宮市教職員初任者研修（10/9、10/16、10/23） 延べ158名
 - ・「臨地研修」及び「環境教育」の2分野で講義
- *西宮市教職員研修「兵庫県漁連海苔流通センター」見学（7/31）26名
- *西宮市保育所実地研修（公私立保育所保育士）甲山農地（11/21）約40名
- *西宮市保育所職員専門研修「生物多様性とビオトープのあり方」（2013/1/31）約50名



■西宮市子育て総合センター グループ研究「幼児教育とESD」

9回の研究会、最終回は研究報告会・グループ討議を行いました。

研究メンバー：西宮市幼稚園、保育所職員 計8名

（5/1、6/1、6/20、8/6、9/6、10/26、11/22、12/7、2013/1/24、3/19）

■「農を通じた総合的人間力形成プログラム」●一般財団法人人間塾第1回実践活動助成事業

同世代の若者が共に汗を流して1年間にわたり米や野菜づくり等を行うなかで、自然との対話や創造的思考力、コミュニケーション力、他者と協働する力、自活力など多面的な力を培うための活動をプログラムしました。（6/10～2/9の間 全16回 20名）

■まちの語り部 語り部倶楽部

2012年度は、三井物産環境基金活動助成の中で、「第2期まちの語り部養成セミナー」を8回実施しました。
また、新任教員の研修など各事業への協力を行いました。

- 4/14 講演会「地理学から見た自然災害」
講師：高橋 学氏（立命館大学文学部地理学教室教授）
参加者：83名
- 4/21 西宮、5/12 甲山、5/26 大社・夙川、6/2 甲東、
6/16 鳴尾、6/30 9/9ワークショップ 参加者：延べ188名



教職員研修：兵庫県漁連海苔流通センター



講演会「地理学から見た自然災害」

神戸女学院大学人間科学部 現代GPでの実習指導など

●環境学習都市にしのみや・パートナーシップ認定事業

- *「地域活性化総合実習」として、甲山農地を日常管理、作業指導、プログラムづくりへのアドバイス、イベント協力等を受託しました。 農地活動26回 イベント2回（8/12、11/18）
- *「地域活性化論」講師（12/22）
- *神戸女学院大学2012年度非常勤講師「NPOマネジメント論」2回生対象選択授業 14回 37名

大学生及び大学院生インターンシップ研修受け入れ

- ・神戸女学院大学「地域からESDを推進する女性環境リーダー」に係るインターンシップ研修（P.6参照）
- ・損害保険ジャパン 環境財団CSOラーニング制度 学生2名を農地で受け入れました。



神戸女学院大学「地域活性化論」
西宮市内の環境学習フィールドを学習